西荒屋・室・大崎

自然を活かした復興を考えよう

現地視察と意見交換会



2026年11月14日(土) 10:00~15:30

会場 西荒屋公民館（内灘町西荒屋 41）

現地視察は西荒屋公民館前集合

プログラム

10:00~12:00 現地視察

10：00 ～ 11：30

西荒屋地区を中心に徒歩で巡ります。

希望者は自動車で大崎地区の清水を視察。

13:00~15:30 意見交換会

13：00 ～ 13：45　話題提供

- 東日本大震災被災地における「住民と生態学者が共に考えた復興」
- 「デジタルで甦る河北潟水郷」の紹介

14：00 ～ 15：15　意見交換会

参加対象 西荒屋・室・大崎地区にお住まいの方や、それぞれの地区で復興の取り組みをお手伝いいただける方、自然環境に関心を持つ方など。

主催 NPO法人河北潟湖沼研究所　**協力** 東北学院大学能登半島地震被災地復興 RP

〒929-0342　河北郡津幡町北中条ナ 9-9　Tel.076-288-5803　Email　info@kahokugata.sakura.ne.jp

趣旨・ゲスト紹介と関連事項の予告は裏面へ

11月14日(土)
現地視察と意見交換会

地域を歩いて、これからを一緒に。

これまで西荒屋地区、大崎地区で住民の皆様との意見交換会を行ってきました。生活やコミュニティ、地域のさまざまな機能の再生など、住民が主体となって取り組む課題について意見が交わされ、地下水を自然と共存した潤いのある地域づくりに利用できるのでは、とのご意見もいただきました。今回は現地を見てまわり、自然とのふれあい空間の整備ができそうな場所などを探し、何ができるかを考えます。

ゲストのご紹介

平吹 喜彦さん

自然環境復元学会会長・東北学院大学名誉教授



東日本大震災後、仙台市新浜地区を拠点に「海岸エコトーン」（海と陸と川の境界）の調査・保全に携わり、地元の方々とともに復興と自然再生に取り組んでいます。著書に『大津波と里浜の自然誌』『自然と歴史を活かした震災復興』など。

辺本 良治さん

内灘町文化財保護審議会委員・なべもとステンドグラス

ステンドグラス作家として活躍する傍ら、内灘町や河北潟など郷土に関する出版物を制作。今年、河北潟を囲む会代表の芝田悟さんとともに、河北潟に関連する原風景を記録した写真集『水郷彩現』を刊行。

※辺本さんは午前の現地視察に同行いただきます。



本企画は公益財団法人 水・地域イノベーション財団による 2026 年度 水・地域助成事業の助成を受けて実施します。

予告 関連事業

住民主体の地域復興を学び、語り合う

東日本大震災の被災地での事例紹介と意見交換会



2026年12月13日(日) 14:00～16:30

会場：大崎区民会館（かほく市大崎チ 115）

東日本大震災の津波被害により集落が失われた仙台市新浜地区で、集落・農業の再生、自然復元に取り組む当事者のお話しを伺い、河北潟湖岸地域の再生の参考にします。あわせて、大崎・西荒屋・室の３地区の住民の皆さんとともに意見を交わします。

ゲスト

遠藤源一郎さん

元仙台市職員。2013 年に八木山動物公園長を最後に退職。翌年、地元の新浜地区で「遠藤環境農園」を開始。震災前の故郷の豊かな自然を取り戻したいという思いから、農薬や化学肥料を農薬や化学肥料を使わずに、メダカといっしょにササニシキなどを栽培。新浜町内会の庶務・まちづくり担当としてイベントの事務局も担っています。農民文学賞受賞者。

上原啓吾さん



貞山運河倶楽部代表、仙台市まちづくり専門家、ランドスケープ・アーキテクチャ（景観から考える地域づくり）、作庭家。2011 年の東日本大震災直後から、沿岸部の貞山運河の利活用による震災復興を推進しています。

新浜地区について

震災前
148 世帯･560 人／
農業 60 世帯／農地 100ha

震災後（2023 年 1 月 12 日時点）
70 世帯･210 人／津波で亡くなられた方 58 人／
農業 55 世帯（実従事 37 世帯）／農地 100ha